

2019年度事業報告

特定非営利活動法人

産業・環境創造リエゾンセンター

2019年4月1日～2020年3月31日

1 概要

2019年度は、会員企業の活発な交流のもとに川崎市との連携を緊密にし、「温暖化防止対策」、「地域防災力の一層の強化とエネルギー対策の取組」、「地域の環境改善への取組」、そして、「市民活動及び他地区との交流」及び「スマートコンビナートの構築と川崎臨海部における情報発信」を推進する活動を進めた。

川崎市は、30年後を見据えた臨海部の将来像やその実現に向けた戦略、取組の方向性を示した「臨海部ビジョン」を2018年3月に策定したが、同ビジョンで掲げるリーディングプロジェクトの具体的な事業化に向けて前年度に引き続き、今年度も「臨海部ビジョン研究会」をほぼ毎月開催し会員企業と川崎市との共同による検討会として研究・議論を深めリーディングプロジェクトの着実な実現に寄与をした。

また、「低CO2川崎ブランド等推進協議会」に参画し、川崎市が推進する「低CO2川崎ブランド認定制度」及び「川崎メカニズム認証制度」への支援活動を行った。さらに、「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」では、特に冠水対策を継続課題として川崎市の道路関係部局と会員企業で活発な意見交換を行ない臨海部の環境改善に向けた取り組みを進めた。

2019年11月14日には、第10回臨海コンビナート都市連携シンポジウムを開催し、東京理科大学大学院の橘川武郎教授に「コンビナートの未来と川崎臨海部ビジョン」と題する基調講演をしていただいた。パネルディスカッション「スマートコンビナートを目指して」では、茨城県鹿島コンビナート、千葉県京葉コンビナート並びに当センター会員の関連企業からパネリスト参加をいただきコンビナートの競争力強化や企業間連携・地域間連携に向けた活発な議論が展開され、首都圏コンビナート地区の先進的取組や課題解決の取組について情報発信及び情報共有化を図ることができた。

また、川崎市から受託している「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理運営を継続実施するとともに、市民等との交流事業として夏休み親子見学会等の共催、川崎区企業市民交流事業の「かわさき企業市民DAYイベント」への出展とともに第12回川崎国際環境技術展に出展し、広く市民に対して川崎臨海部の現状と取組、会員企業の取組について紹介を行う活動を実施した。

なお、2020年2月から3月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、首相からのスポーツ・文化的イベントの中止要請などを踏まえて、3月に予定していた理事会・政策懇談会等の一部事業について書面による開催や情報提供などで対応をした。

2 事業活動内容と成果

(1) 自主事業

ア 定常事業

(ア) 定例会・リエゾン交流会(3回実施)

「定例会・リエゾン交流会」は会員参加による NPO 法人の運営を目指し、会員企業の現地視察要望を踏まえて、臨海部及び関連地域での会員企業や関連企業の先進事例等について、川崎市及び神奈川県職員にも参加いただき、会員相互及び行政職員との共通認識の形成を目的とする「リエゾン交流会」として視察見学会を以下のとおり実施した。

<通算第 40 回交流会>

- ・日時 2019 年 4 月 11 日(木)視察研修会(参加者 19 人)
- ・場所 東京ガス(株)扇島 LNG 基地、(株)扇島パワー(横浜市鶴見区)

<通算第 41 回交流会>

- ・日時 2019 年 8 月 27 日(火)視察研修会(参加者 31 人)
- ・場所 (株)JERA 川崎火力発電所(川崎区千鳥町)

<通算第 42 回交流会>

- ・日時 2020 年 1 月 23 日(木)視察研修会(参加者 21 人)
- ・場所 JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区(高炉・厚板工場)(川崎区扇島)

(イ) 川崎市との政策懇談会(2回開催)

臨海部に係る最新の動向や市の政策課題取組状況・予算措置等について、役員・会員と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

<第 1 回政策懇談会>

- ・日時 2019 年 10 月 24 日(木)
- ・場所 東京ガス(株)川崎ビル
- ・川崎市 5 局・本部からの情報提供
 - [まちづくり局] 川崎駅周辺地区の取組状況について
 - [建設緑政局] 羽田連絡道路の事業進捗、東京外郭環状道路(東名高速～湾岸道路間計画検討協議会)、都市計画道路殿町羽田空港線他道路築造工事について
 - [港湾局] 最近の川崎港の動向について
 - [臨海部国際戦略本部] 臨海部の活性化推進、臨海部ビジョンの進捗状況について
 - [経済労働局] 第 12 回川崎国際環境技術展・第 3 回テクノトランスファー in かわさき 2019、知的財産交流事業について
- ・会員企業からの情報提供
 - [味の素(株)] 川崎エリアの動向について
 - [J&T 環境(株)] 事業統合の狙いと事業領域等について

<第 2 回政策懇談会>

2020 年 3 月 24 日(火)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止

のため、会議形式による開催を中止し、会員に対して書面により川崎市各局・本部(環境局・まちづくり局・建設緑政局・臨海部国際戦略本部・経済労働局)から「臨海部関連計画の進捗状況」及び「2020年度予算概要」等についての情報提供を行なった。

(ウ) 川崎市・リエゾンセンター定期情報交換会(ほぼ毎月早朝開催 11年目)

参加者 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 課長、係長、担当職員
川崎市経済労働局国際経済推進室 課長、係長、担当職員
川崎市環境局地球環境推進室 課長、係長、担当職員
当 NPO 法人 正副幹事長、専務理事、事務局

※ 本情報交換会は、臨海部関連事業情報等を交換し相互協力により事業推進を図るとともに必要な情報を会員に提供している。

(エ) 川崎市との「臨海部活性化研究会」(ほぼ毎月開催。2012年1月から実施。2018年度からは「臨海部ビジョン・リエゾン研究会」として活動している。)

「臨海部ビジョン」で、直近10年以内に取り組むと位置付けた「リーディング・プロジェクト」の中から2019年度は「臨海空間を活かした地域活性化プロジェクト」、「働きたい環境づくりプロジェクト」、「企業活動見える化プロジェクト」、「災害対応力向上プロジェクト」の4つのプロジェクトについて、ほぼ毎月開催される各プロジェクトのグループ討議に会員企業が参加して具体的な取り組みに向けて議論を進めた。

参加者 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 部長、課長、係長、担当職員
当 NPO 法人会員企業、専務理事、事務局

※ 「臨海部ビジョン・リエゾン研究会」は、川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部と会員企業で構成している。検討事項によって経済労働局、環境局その他川崎市各局職員の参加をいただいている。

(オ) 会報の発行(年3回発行)

<第34号>(2019年9月25日発行)

第15回通常総会、役員の変更、臨海部ビジョン研究会、交流会報告、お知らせ

<第35号>(2019年12月19日発行)

臨海コンビナート都市連携シンポジウム2019、旭化成(株)名誉フェロー吉野彰氏ノーベル賞化学賞受賞、川崎国際環境技術展2019、令和元年度第1回川崎市との政策懇談会、お知らせ

<第36号>(2020年3月30日発行)

令和元年度川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会、第42回リエゾン交流会(視察研修会)報告、2019年度スマートライフ大賞関連、2019年度低CO2川崎ブランド認定関連、令和元年度第2回川崎市との政策懇談会(書面による情報提供)、お知らせ

※ 会報は、会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人の活動状況、会員企

業の臨海部関連情報などを提供している。

イ リエゾン研究・検討会

(ア) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会(通算第 21 回)

<日時・場所> 2019年11月20日(水) 川崎市第3庁舎15階会議室

<懇談内容> 臨海部における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定、意見交換、とりわけ台風等による道路冠水対策について掘り下げた検討を行った。

[川崎市からの出席者] 建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、川崎区、上下水道局から課長職等16名が出席

[会員企業の出席] 8社

※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより2009年11月に発足した。

(イ) 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議

<開催日時・場所> 2019年4月23日(火) 川崎市浮島処理センター

<意見交換・視察内容> 川崎市災害廃棄物等処理実施計画(案)について説明及び意見交換を実施した後、川崎市浮島処理センターにて廃棄物発電を活用したエネルギー循環型ごみ収集施設について視察見学を行なった。

[川崎市からの出席者] 環境局生活環境部、臨海部国際戦略本部から部長・課長・係長等7名が出席

[会員企業の出席] 事務局を含めて16名が出席

※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより2009年に発足した。

(ウ) 当法人及び会員企業が参加するその他の主な会議

a 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議

[目的] 川崎臨海部のコンビナートにおいて、企業間連携による高度化の取組について検討・事業化を図ることにより高付加価値・環境共生型の産業集積をめざす。

[設置] 2008年1月

[構成員] 臨海部立地企業、経済産業省(資源エネルギー庁、関東経済産業局)、神奈川県、川崎市、横浜市、当NPO法人

[事務局] 神奈川県政策局自治振興部地域政策課、川崎市経済労働局国際経済推進室

<第1回>2019年5月31日(金) 川崎市産業振興会館会議室

[議事] ・平成30年度の活動報告等について

・スマート保安「自分の会社でドローンを飛ばすとしたら?」をテーマに意見交換会を開催した。

<第2回>2018年10月23日(火)JXTG エネルギー(株)川崎製油所

[視察会] 川崎オキシトン(株)よりドローン飛行実績報告、JXTG エネルギー(株)川崎製油所よりドローン導入経緯紹介の後、JXTG エネルギー(株)体育館においてドローン飛行実演が行われた。

<第3回>2020年3月27日(金)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会議形式による開催を中止し、書面による開催となった。

b 川崎臨海部防災協議会

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

[設置] 2012年1月

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市
会員企業から旭化成(株)、JFEスチール(株)、昭和電工(株)、JXTGエネルギー(株)、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当NPO法人

[事務局] 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部

[活動概要] 地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、台風19号の被害状況・各局の対応(第2回協議会での議題)、今後の取組等が検討され、令和元年度川崎臨海部広域防災訓練(第6回目)が実施された。

<第1回> 2019年5月29日(水)

<第2回> 2019年11月27日(水)

<令和元年度川崎臨海部広域防災訓練>2019年3月23日(月)

訓練内容

○川崎市直下の地震が発生したとの想定による情報伝達訓練

c 低CO2川崎ブランド等推進協議会

[目的・活動概要]

市内には優れた環境技術が集積しており、その環境技術を活かす取組の一つとして、川崎市は低CO2川崎ブランド及び川崎メカニズム認証制度を実施してきた。本協議会は、企業、市民及び行政の協働により、川崎発の温室効果ガス排出削減に向けた取組を推進している。

[設置] 2016年4月

[構成員] (委員)足立芳寛東京工科大学教授、川崎市産業振興財団理事長、
川崎商工会議所副会頭、当NPO法人専務理事、川崎市環境局長

<第1回低CO2川崎ブランド等推進協議会> 2019年5月31日(金)

<第2回低CO2川崎ブランド等推進協議会> 2019年9月25日(水)

<かわさき低CO2ビジネス交流会> 2020年2月18日(火)

ウ 情報発信事業

(ア) 「臨海コンビナート都市連携シンポジウム2019」(第10回)の開催

[開催日時] 2019年11月14日(木)13:30~17:00

[場所] カルッツかわさき 1階 大会議室

【目的・活動概要】

首都圏コンビナート地域は、国際競争力の強化、安全・安心の確保、地球温暖化防止等への一層の対応、事業環境の大きな変化への対応などの課題に直面している中で、事業所間・地域間のさらなる連携など、スマートコンビナートの構築に向けての議論を深めた。なお、2019年度は「川崎国際環境技術展」と同時に同会場で開催をした。

【内容】

◇基調講演 「コンビナートの未来と川崎臨海部ビジョン」

東京理科大学大学院経営学研究科教授 橘川 武郎 氏

◇パネルディスカッション 「スマートコンビナートを目指して」

・コーディネーター

NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター理事長 足立 芳寛

・パネリスト

茨城県鹿島コンビナート 鹿島石油株式会社鹿島製油所

技術副所長 吉岡 範英 氏

千葉県京葉コンビナート 住友化学株式会社

執行役員 千葉工場長 荻野 耕一 氏

神奈川県京浜コンビナート 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

専務執行役員 高柳 雅己 氏

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 技術部長 栗原 久光 氏

【主催】 当 NPO 法人 【共催】 川崎市

【後援】 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市産業振興財団、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合(RING)、(株)化学工業日報社

(イ) 展示会等への出展

a 第12回川崎国際環境技術展

【日時】 2019年11月13日(水)～14日(木) 10:00～17:00

【場所】 カルッツかわさき(川崎区富士見)

【内容】

第12回目を迎えた同技術展に、「川崎市経済労働局」及び「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」との連携ブースとして出展した。会員企業の地球温暖化防止への取組等を展示した。市民、企業、行政関係者、学生など多くの来場者(2日間で約450人)があった。併せて臨海部に関わるクイズ及びアンケート調査を実施した。(回答244人)

b 川崎区企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流Day」

【日時】 2019年8月4日(日) 10:30～15:00

【場所】 川崎ルフロン1階イベントスペース

[内容]

会員企業の東京ガス(株)川崎支店が「廃ガス管を使って万華鏡を作ってみよう！」及び昭和電工(株)川崎事業所が「ドライアイス実験教室」の体験型プログラムを提供した。

また、JFEスチール(株)東日本製鉄所京浜吹奏楽部によるミニコンサートが行われた。さらに、当NPO法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを展示した。

(ウ) ホームページを通じた情報発信等

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、当NPO法人が実施した活動を随時掲載した。

※「会員企業の最新の動向」については各社のホームページから「技術革新」、「国内外展開」、「CSR」の視点から情報収集し毎月掲載した。2012年1月から実施。

(エ) その他

(川崎の歴史と文化を識る会・NPO法人高津区文化協会主催「元気な川崎を知ろう！

PART-VIII」での講演)

[日時・場所] 2019年7月12日(金) 高津市民館会議室

[講演内容] 「工都かわさき過去・現在・未来～工都かわさきの誕生」

[講師] 瀧田顧問

(2) 受託事業

川崎市から次の2事業を受託した。

ア「川崎臨海部活性化推進協議会」運営等業務(臨海部国際戦略本部)

前年度に引き続き上記協議会の事務局として2回の協議会の開催・運営を行った。

<令和元年度第1回川崎臨海部活性化推進協議会>

[日時] 2019年9月27日(金)15:00～17:00

[場所] 川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

[議題] ①臨海部ビジョンの進捗状況について

- ・臨海部ビジョンリーディングプロジェクトの概要
- ・リエゾン研究会での今年度の取組状況

②リーディングプロジェクトに関する取組について

- ・新産業拠点形成に関する取組

(株)島津製作所のキングスカイフロントへの新拠点開設について

- ・水素エネルギー利用推進に関する取り組み

(株)豊田自動織機の燃料電池フォークリフトの取組

- ・働きたい環境づくりに関する取組

味の素(株)の「働き方改革」(生産現場における取組)

<令和元年度第2回川崎臨海部活性化推進協議会>

2020年3月27日(金)に川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室にて開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため会議形式による開催を中止とし、「書面での開催」とし、「臨海部ビジョンの進捗状況」及び「リーディングプロジェクトに関する取り組み」等について協議会構成メンバーに対して情報提供を行ない意見を集約した。

イ 「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務(経済労働局)

前年度に引き続き、会員企業及び臨海部企業の環境への取組を中心とした活動の交流・広報の場として、また、川崎市の関連イベントの紹介の場として、川崎市産業振興会館12階の「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理・運営を行った。

また、市民等との交流事業として川崎市地球温暖化防止活動推進センター事業に共催して2回の見学会を実施した。

<第1回>2019年8月1日(木) 夏休み自由研究親子見学会 親子15組が参加

[見学先] エコ暮らし未来館・浮島処理センター・資源処理施設(川崎区浮島町)
三菱ふそう・トラックバス(株)川崎製作所

<第2回>2019年10月3日(木) 大人の社会科見学会 参加者40人

[見学先] 味の素(株)川崎工場(川崎区鈴木町)
入江崎水処理センター(川崎区塩浜)
環境総合研究所・東急REIホテル(川崎区殿町)

※東急REIホテルにて昭和電工(株)より水素プロジェクトを紹介した。

<展示会での紹介>

第12回川崎国際環境技術展に出展し、市民や他都市からの来場者に対して、会員企業を中心とする臨海部企業の取組を紹介し広く広報した。ブース来場者は、2日間で約450人であった。

(3) 各種協議会、委員会等への参加

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

ア 「川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)」(事務局川崎市環境局地球環境推進室)

[会長] 足立芳寛理事長

[理事] (内、会員企業5社-味の素(株)、JFEスチール(株)、東京ガス(株)、
東京電力パワーグリッド(株)、JXTGエネルギー(株)川崎製油所)

[運営委員会] 委員長 小泉専務理事、

[委員] (内、会員企業2社-東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株))

[主な実施事業]

CC川崎エコ会議シンポジウム(2019年10月30日(水))において第8回スマートライフスタイル大賞表彰式 受賞団体の取組事例発表を実施した。受賞団体によるパネルディスカッションを足立芳寛理事長コーディネーターにより実施した。

※当リエゾンセンターの会員企業である東京ガス(株)川崎支店の「キッチンランド川崎における料理を通じたエコな取組の啓発活動」が第8回スマートライフスタイル大賞奨励賞を受賞した。

イ 「低 CO2 川崎ブランド等推進協議会」

[構成団体] 川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当 NPO センター

[委員長] 足立芳寛理事長 (併せて審査部会委員長)

[委員] 小泉専務理事 (併せて運営・推進部会委員)

[主な活動内容]

川崎市と産業支援団体等が連携し「低 CO2 川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。

11月13日に「低 CO2 川崎ブランド 19」認定結果発表会が行われ、次の会員企業が認定を受けた。

J F E スチール(株) 【高耐食溶融メッキ鋼板「エコガル Neo」】

認定結果発表会において、低 CO2 川崎ブランド等推進協議会会長の足立芳寛理事長から審査結果の講評が行われた後、足立理事長より「気候変動から気候危機の時代へ」の講演があった。

(2009年度からの認定企業数は会員企業累計 13社・29件、全市合計 90件)

ウ 「川崎国際環境技術展実行委員会」(事務局 川崎市経済労働局国際経済推進室)

[監事] 足立芳寛理事長

[企画部会] 味の素(株)、J X T G エネルギー(株)、J F E エンジニアリング(株)、
J F E スチール(株)、東京ガス(株)

エ 「川崎区企業市民交流事業推進委員会」(事務局川崎区まちづくり推進部地域振興課)

[委員] 風間事務局長、

[会員企業] 味の素(株)、J X T G エネルギー(株)、J F E スチール(株)、昭和電工(株)
東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、富士電機(株)

3 運営体制等

(1) 役員は 11 名体制のもとに、理事長を中心に、川崎市との政策懇談会、シンポジウムの実施等の当 NPO 法人の重要な事業において主要な役割を担った。

(2) 会員数(2020年3月末現在)

団体会員 19 社、個人会員 17 人(今年度 4 人が加入した。)及び賛助会員 2 社

(3) 幹事会は、引き続き次の 7 社で運営した。会合は 8 月を除き毎月 1 回開催した。

当 NPO 法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

- ・ 幹事長 東亜石油(株)
- ・ 副幹事長 J F E スチール(株)
- ・ 幹 事 (株)デイ・シイ、J X T G エネルギー(株)川崎製油所、東京ガス(株)、
(株)浜銀総合研究所、東京電力パワーグリッド(株)

2019年度主な事業スケジュール

特定非営利活動法人

産業・環境創造リエゾンセンター

2020年3月31日

<4月>

- 9日(火) 第1回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 11日(木) 第1回リエゾン交流会(通算第40回)
【東京ガス(株)扇島 LNG 基地、(株)扇島パワー】
- 19日(金) 第1回幹事会
第1回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会
- 23日(火) 循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議
【浮島処理センター視察 EV ゴミ収集車】

<5月>

- 17日(金) 第1回低CO2川崎ブランド等推進協議会運営・推進部会
- 15日(水) 第2回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 17日(水) 小澤監事による監査
- 21日(火) 第2回幹事会
第2回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会
- 29日(水) 第1回川崎臨海部防災協議会
- 30日(木) 第1回理事会 第2回理事会(通算第61回・62回)
第15回通常総会・記念講演会・懇親会
- 31日(金) 第1回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議
- 31日(金) 第1回低CO2川崎ブランド等推進協議会

<6月>

- 6日(木) 第1回川崎区企業市民交流事業推進委員会
- 10日(月) 地球温暖化防止活動推進センター運営会議
- 11日(火) 第1回CC川崎エコ会議運営委員会
- 12日(水) 第3回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 21日(金) 第3回幹事会
第3回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会
- 18日(火) JFE スチール・岩山理事訪問

<7月>

- 4日(木) 第1回CC川崎エコ会議理事会
- 9日(火) 第4回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 9日(火) 東京ガス(株) 金澤理事訪問
- 22日(月) 第4回幹事会
第4回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会

< 8月 >

- 1日(木) 市民交流事業 夏休み親子見学会
【エコ暮らし未来館、三菱ふそうトラック・バス】
- 2日(金) 東京電力パワーグリッド(株) 野村理事訪問
- 4日(日) 川崎区企業市民交流事業 【川崎駅東ロルフロン前】
- 6日(火) 東亜石油(株) 宍戸理事訪問
- 8日(木) JXTG エネルギー (株) 下村理事訪問
- 21日(水) 第2回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議
- 26日(月) 第2回 CC 川崎エコ会議運営委員会
- 27日(火) 第2回リエゾン交流会(通算第41回)
【JERA 川崎火力発電所】
- 29日(木) (株) デイ・シイ 山下理事訪問
- 30日(金) 第1回川崎国際環境技術展実行委員会

< 9月 >

- 10日(火) 第5回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 11日(水) 第5回幹事会
第5回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会
- 19日(木) 浜銀総研(株) 添野幹事と意見交換
- 20日(金) 第2回低CO₂川崎ブランド等推進協議会運営・推進部会
- 25日(水) 第2回低CO₂川崎ブランド等推進協議会
- 27日(金) 第1回川崎臨海部活性化推進協議会

○会報発行(第34号)

< 10月 >

- 3日(木) 市民交流事業 市民見学会
- 15日(火) 第6回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 17日(木) 第6回幹事会
第6回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会
- 24日(木) 第3回理事会(通算第63回)・政策懇談会・懇親会
- 30日(水) 第8回スマートライフスタイル大賞表彰式

< 11月 >

- 6日(水) 第7回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会
- 13日(水) 14日(木) 川崎国際環境技術展
- 14日(木) 臨海コンビナート都市連携シンポジウム2019(第10回)
- 20日(水) 第1回川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会
- 21日(木) エネルギー効率化先進施設見学会(相模原 東急建設(株)技術研究所)

< 12月 >

- 4日(水) 第8回川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会

5日(木) 第7回幹事会

第7回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会

20日(金) 第3回低CO₂川崎ブランド等推進協議会運営・推進部会
○会報発行(第35号)

令和2年(2020年)

<1月>

10日(金) 第9回川崎市・リエゾンセンター定期情報交換会

23日(木) 第3回リエゾン交流会(通算第42回)

27日(月) 第2回川崎国際環境技術展実行委員会

28日(金) 第8回幹事会

第8回「臨海部ビジョン」リエゾン研究会

<2月>

7日(金) 第10回川崎市・リエゾンセンター定期情報交換会

18日(火) 第4回かわさき低CO₂ビジネス交流会

21日(金) 第9回幹事会

27日(木) 第3回CC川崎エコ会議運営委員会

<3月>

12日(木) 第10回幹事会(書面による開催)

18日(水) 第2回川崎温暖化対策推進会議理事会(書面による開催)

23日(月) 第6回川崎市臨海部広域防災訓練

23日(月) 第4回低CO₂川崎ブランド等推進協議会運営・推進部会

24日(火) 第4回理事会(通算第64回)(書面による開催)

27日(金) 第2回川崎臨海部活性化推進協議会(書面による開催)

27日(金) 第3回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議(書面による開催)

○会報発行(第36号)

2019年度活動計算書

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位：円)

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター			
科 目		当初予算①	決算額②	差額①-②	
I 経常収益					
1. 受取会費		6,004,000	5,992,000	12,000	
	・ 団体会員	5,700,000	5,700,000	0	300千円×19
	・ 賛助会員	100,000	100,000	0	50千円×2
	・ 個人会員	204,000	192,000	12,000	12千円×16
2. 受取寄附金		0	0	0	
2. 事業収益		2,900,000	2,899,799	201	
	・ 川崎臨海部産学公民連携事業	900,000	899,800	200	
	・ スマートコンビナート情報発信交流事業	2,000,000	1,999,999	1	
3. その他収益		0	84	-84	
	・ 雑収益	0	84	-84	預金利息、利子割還付金等
経常収益計 (A)		8,904,000	8,891,883	12,117	
II 経常費用					
1. 事業費		3,772,000	3,149,201	622,799	
	① 自主事業	1,307,000	697,952	609,048	
	ア. リエゾン交流会事業費	316,000	62,540	253,460	
	・ 業務費 (会議費、謝金等)	300,000	50,600	249,400	
	・ 諸経費 (通信、印刷等)	16,000	11,940	4,060	
	イ. リエゾン研究会	77,000	18,226	58,774	
	・ 業務費 (会議費、謝金等)	70,000	11,616	58,384	
	・ 諸経費 (通信、印刷等)	7,000	6,610	390	
	ウ. 普及・広報事業費	814,000	617,186	196,814	
	・ シンポジウム開催経費	494,000	413,854	80,146	
	・ ホームページ経費等	310,000	203,332	106,668	
	・ 会報発行経費	10,000	0	10,000	
	エ. 研究調査事業費	100,000	0	100,000	
	・ 業務費 (会議費、謝金、外注費等)	100,000	0	100,000	
	② 受託事業	2,465,000	2,451,249	13,751	
	ア. 川崎臨海部産学公民連携事業	765,000	761,876	3,124	リエゾン推進協議会運営管理
	・ 人件費	100,000	100,000	0	
	・ 業務費 (会議費、謝金、外注費等)	621,000	628,756	-7,756	
	・ 諸経費 (通信、印刷等)	44,000	33,120	10,880	
	イ. スマートコンビナート情報発信交流事業	1,700,000	1,689,373	10,627	交流コーナー・川崎国際環境技術展
	・ 人件費	1,400,000	1,387,000	13,000	
	・ 業務費 (会議費、謝金、外注費等)	237,000	221,023	15,977	
	・ 諸経費 (通信、印刷等)	63,000	81,350	-18,350	
2. 事務局運営費		6,368,000	6,086,566	281,434	
	① 人件費	4,117,000	4,237,358	-120,358	
	・ 役員報酬	2,220,000	2,197,500	22,500	
	・ 職員給与	1,300,000	1,477,220	-177,220	
	・ 法定福利費	597,000	562,638	34,362	
	② その他経費	2,251,000	1,849,208	401,792	
	・ 什器備品費	200,000	168,612	31,388	OA機器、フロッピー、コピーリース、消耗品等
	・ 事務費 (通信、印刷等)	151,000	131,192	19,808	通信、コピー、インターネット、プロバイダ
	・ 賃貸料 (事務所他)	150,000	140,947	9,053	
	・ 旅費交通費	700,000	531,223	168,777	
	・ 雑費	780,000	664,634	115,366	図書、振込手数料、租税公課、新聞、謝金等
	・ 税理士報酬	200,000	142,600	57,400	
	・ 法人税等	70,000	70,000	0	住民税 (県税、市税)
3. 予備費		700,000	0	700,000	
経常費用計 (B)		10,840,000	9,235,767	1,604,233	
III 当期正味財産増減額 (A) - (B) = (C)		-1,936,000	-343,884	-1,592,116	
前期繰越正味財産額 (D)		6,546,561	6,546,561	0	
IV 次期繰越正味財産額 (D) + (C)		4,610,561	6,202,677	-1,592,116	
計算書に対する注記					
1. 各受託事業の人件費は職員給与の一部である。					